

2022年12月26日

報道各位

## リニア中央新幹線静岡工区に関する要望と質問書を 大井川流域首長に提出する件について

大井川の水を守る 62万人運動有志  
南アルプスとリニアを考える市民ネットワーク静岡  
共同代表:有元利通、八木功、服部隆、増田和明、松谷清

私たちは南アルプスと大井川の水を守りたいと、静岡県中央新幹線環境保全連絡会議及び国土交通省有識者会議を注視してきました。JR東海は山梨側からの県境を越えての工事について、静岡県から協議の要請を受けているにもかかわらずそれに応えないどころか、12月21日には金子進社長が1月からの工事スタートを発言していることを報道で知りました。

12月11日に行われた大井川流域市町首長と地質構造・水資源専門部会との意見交換会での流域首長各位が表明された認識に違和感と危機感を覚えた私たちは、このまま黙って年を越す訳にはいかないと、大井川流域首長に要望と質問書を提出することとしました。回答時には意見交換を要請します。

【提出】 2022年12月26日(月)

【回答期限】 2023年1月20日(金)

【内容】 別紙 1.リニア中央新幹線静岡工区に関する要望と質問書(2ページ)  
2. 大井川の水を守る 62万人運動有志名簿(有志は1/20まで募ります)

併せて、2023年1月10日(火)には、県への要望書の提出も行います。ここでは、静岡県くらし環境部長との意見交換を予定しています。

以上

連絡先:福田由紀子(村野)  
静岡県榛原郡吉田町住吉 3268-5  
TEL:090-1996-5670  
Mail: ooigawa.save@gmail.com

2022年12月26日

大井川流域自治体市長・町長 様

## リニア中央新幹線静岡工区に関する要望と質問

大井川の水を守る62万人運動有志(別紙で署名)  
南アルプスとリニアを考える市民ネットワーク静岡  
共同代表:有元利通、八木功、服部隆、増田和明、松谷清

日頃の市政町政へのご尽力に感謝申し上げます。私たちは南アルプスと大井川の水を守りたいと、静岡県中央新幹線環境保全連絡会議及び国土交通省有識者会議を注視してきた市民と自治体議員です。昨年12月、13回の国土交通省有識者会議を経て「大井川水資源問題に関する中間報告」が出され、JR東海への具体的指導がなされた上で、この春から県の専門部会で「全量戻し」の具体的方策等、4回の会議が開かれています。そこでの県の委員からの質問の殆どにJR東海は回答を用意できていない段階にあります。

県は、10月13日にJR東海に対して「リニア中央新幹線南アルプストンネル工事に係る協議について」という文書で、「トンネル掘削により発生する湧水は、水圧差(動水勾配)の関係上、近傍の地下水だけではなく、距離的に離れた場所の高圧の地下水を引っ張ることになる」とし、山梨工区の工事を県境手前のどこで止めるのかの協議を求めています。それに対してJR東海からの文書での回答は無く、10月31日の静岡県中央新幹線環境保全連絡会議地質構造・水資源専門部会では、協議の要望に応えるどころか、県境を越えて高速長尺先進ボーリングを行う計画を説明しました。この時にはJR東海の子会社から「巨摩山地において、高速長尺先進ボーリングが抜けなくなった」事例の説明もありました。国土交通省有識者会議の中間報告書には、「静岡県側からの高速長尺先進ボーリングは調査として有効」と書かれていますが、山梨県側からについては、「工事の安全を確保するための情報を事前に得ることにつながる」とあり、静岡県の水の保全の為にボーリング調査ではないことは明白です。

これらを踏まえた上で、12月11日に行われた大井川流域市町首長と地質構造・水資源専門部会との意見交換会を傍聴した私たちは、流域首長各位が表明された認識に違和感と危機感を覚えました。

よって、以下のことを要望し、1月20日までに回答を求めます。

### 記

1. 山梨工区との県境付近から流れ出る水も工事期間10ヶ月間に流出する水とあわせ「全量戻し」されるべき水であるとの明言をお願いしたい。
2. 大井川流域自治体として命の水を守る為、庁内に県と連携できるリニア工事に伴う

リスク対応機関、又は担当職員の配置を強化し、定期的な会議や市民も直接もしくは web で参加可能な勉強会の開催などをお願いしたい。

3. 国交省の有識者との意見交換は非公開であったが、県民全体で考えるべき問題であるので、公開で行うことを求めます。
4. 「田代ダム案」は以下のような解決できていない問題があると考えているが、ご意見を伺いたい。
  - (1) 国交省有識者会議の中間報告後に出てきた話であり、有識者会議では議論されておらず、新たな事項として県の専門家会議で科学的・工学的・法的に慎重に検討するべきものであるということについて。
  - (2) 水利権の法的な解釈について、国交省の見解を公文書で示されていないことの是非と今後の取り組みについて。
  - (3) 工事に伴い生じる、山体内に長い年月をかけて貯められた水(被圧地下水)の減少の影響については、これから議論されることになる。融通する水が渇水期に無いかも知れないという可能性について。

以上

## 大井川の水を守る 62 万人運動有志(12/25 時点)

別紙

杉田素之	牧之原市	牧之原市の、茶生産者として、有志に参加します。
長島孝	御前崎市	署名します
大石和央	牧之原市議会議員	
杉本一詩	焼津市	
大石昌仁	牧之原市	
芝田朋美	島田市	自然への負荷を真摯に捉えるべき。生物多様性も含め、世界の潮流と逆行する環境破壊は確実に地域の生活も未来も破壊します。
山崎みえ子	浜松市	水問題は当事者にとっては大問題です。多くの人にわかってほしいと思います。
前田佳則	川根本町	大井川流域首長の連携無くして議論の円滑な展開は望めません。現状の個別の首長からの主張だけでは強引に展開される JR 東海の動きによって既成事実を積み重ねられてしまい、議論を追い越して民意を諦めに誘導させようという意図に逆らえません。ぜひ広く視野を持って大井川の水を純粹に守るという一点に於いて意思統一と共同を 62 万人運動を軸に動いて欲しいと願っております
山下誠次	沼津市	南アルプスの水は抜いちゃダメです
飯田真理	牧之原市	長野県の大鹿村では、リニア工事で基準値を超えるヒ素やホウ素が検出されたそうです。水を戻すと簡単に言われますが、非常に不確実で、安全性にかけると思います。
松本 隆好	牧之原市	南アルプスには、中央構造線と糸魚川―静岡構造線という大断層帯が通っているため、掘削には大変な困難が伴い、地下での湧水が起りやすい地盤です。掘削で大量に発生する土砂の処分や、それが及ぼす動植物・生態系への影響も懸念されています。地下水脈が分断されることで、地下水がトンネル内に湧出し、地下水や河川流量の減少・枯渇を招き、河川の生態系に影響がかなり出ます。トンネル内で発生した湧水を放流するにも、周辺の河川には、場所や水質、水温に配慮が必要です。もしどうしても着工したいなら JR 東海様、現ルートを通らないよう是非英断を強く求めます。

柴本俊史	牧之原市	
福田由紀子	吉田町	静岡県に工事の環境影響評価を任せっぱなしの流域自治体の在り方は見直すべきと思います。交渉は一本化し、会議での議論の動向は常に注視すべき。
小左武志	川根本町	
八木大輔	藤枝市	南アルプスの宝“ヤマトイワナ”と大井川の水、生態系、流域の皆さんの暮らしを守りたい。 自分の都合だけを押し通す JR 東海のやり方は、到底受け入れられません。
植田友吉	島田市	孫やその子供の代から 荒れた山を見てなぜ昔の人はリニアに反対しなかったのかと言われたくない
織部光男	菊川市議会議員	
齋藤琴美	富士市	後の祭りにならないように、疑問に思うことはしっかり調査して議論することを軽んじてはなりません。これまでの社会的災害は、疑問を持つ市民の声に耳を傾けていれば防げたことがたくさんあるはずです。
寺本由希子	焼津市	
秋山博子	焼津市議会議員	
橋本加代子	吉田町	
橋本哲雄	吉田町	
福世義己	吉田町議会議員	
竹野昇	袋井市議会議員	
八木勝	藤枝市議会議員	流域首長の連携は元より、首長個々の知識の向上と合わせ、議員達への勉強会や、市民へのしっかりとした情報発信(町内会、組の回覧板にまで)していただければ現在の状況が少なくとも今の倍は伝わると考える。 原発の様に目先の利益でなく、未来に繋がる投資を望みます。
森伸一	島田市議会議員	
澤口真弥	相模原市	命の水は、何ものにも代え難い貴重な資源です。JR 東海は、杜撰な計画を認め、直ちに工事を中止するべきです。

